

2026年6月30日に、PMDAよりピボキシル基を有する抗菌薬投与による小児等の重篤な低カルニチン血症、重篤な低血糖についての注意喚起がありました。

<https://www.pmda.go.jp/files/000281371.pdf>

我が国で使用されている該当する主な薬剤は以下の通りです。

- セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物
 - CFPN-PI（製品名：フロモックス小児用細粒 など）
- セフジトレン ピボキシル
 - CDTR-PI（製品名：メイアクト MS 小児用細粒 など）
- セフテラム ピボキシル
 - CFTM-PI（製品名：トミロン細粒小児用 など）
- テビペネム ピボキシル
 - TBPM-PI（製品名：オラベネム小児用細粒 など）

これらの薬剤の小児（特に乳幼児）への投与にあたっては、抗菌薬選択の妥当性および投与期間に関する検討を行うとともに、投与開始後の血中カルニチン濃度低下に伴う重篤な低血糖症状の発現に注意してください。

なお、日本感染症学会および日本化学療法学会で発行している JAID/JSC 感染症治療ガイド 2023 については、該当する部分の修正について検討してご報告いたします。

2026年7月6日

一般社団法人日本感染症学会
公益社団法人日本化学療法学会